



R5年 8月

市野谷つばさ保育園

いつの間にかセミの大合唱が聞こえてくるようになり、真夏のピークを迎えていますね。暑い日が続いていますが子どもたちは元気いっぱい！水遊びをしたり、お部屋で思い切り体を動かしてからシャワーを浴びたり、氷などの感触を楽しんだり…夏ならではの遊びを十分楽しんでます。

この暑さの中では特に室内でも起こりうる熱中症に気をつけなければなりません。子どもは体温の調節機能が未発達で、体に熱がこもって体温が上昇しやすくなります。身長が低く地面からの照り返しの影響を強く受けるため、大人よりも高温の環境下にさらされています。子ども自身が体調の変化に気づかないことや、伝えられないこともあるため、私たち大人が顔色や汗のかき方などに気を配る必要があります。

また、汗をかくことで汗腺を活性化し発達していき体温調節ができるようになっていくことから、汗をかくこともとても大切です。こう言われるとエアコンの効いた室内にいると汗腺の発達を妨げられる方もいらっしゃるかもしれませんが、汗をかかないでいることが結果として汗をかきにくい体になってしまうということのようです。

とはいえ毎日続くこの暑さ。元気に夏を乗り切るために汗をかきながら上手にエアコンを使い、体力をつけていきたいですね！

参考：NHK 生活情報ブログ、消費者庁子どもの熱中症対策を心がけましょう



7日(月) 乳児身体測定
8日(火) 幼児身体測定
17日(木) お誕生会
★10:20～開始します

25日(金) 巡回相談

★避難・消火訓練は日にちを
決めずに行います

園からの連絡事項は、見落とし防止のためにもメール配信や乳児横のホワイトボード、事務所横の壁などに掲示してお知らせしていますので、必ずいずれかをご確認くださいようお願いいたします。

《テレビと上手に付き合おう！》

身近な家電で生活には不可欠になりつつあるテレビですが、長時間や近距離での視聴は子どもの体に影響があると言われています。しかし、テレビの視聴にはメリット・デメリットがあり、悪いことばかりではありません。テレビは何歳になっても興味が湧くもの、親としても見てくれると助かる部分もありますよね。テレビの視聴時間や見せ方に注意しながら、上手く活用していきたいですね。

【メリット】言語の発達、認識力を伸ばす、知識や興味が広がる
真似をして成長できる(〇〇みたいにかっこよく！)
コミュニケーションのツールになる

【デメリット】1日2時間以上の視聴でブルーライトの刺激により視力が低下や睡眠が阻害される
コミュニケーションの機会が減る

【こんな風に！】・長時間つけっぱなしにしない

→(〇時になったら消そうね★30分(アニメ1話・1番組)だけ見よう★)

・寝る2時間前にはテレビを見せない

→(寝る前の時間はお子様との大切なコミュニケーションの時間に★)

・テレビと一定の距離をとって視聴する

・年齢に合ったものにし、見ながら会話を楽しむ♪

これらに心掛けながら、テレビの視聴をご家庭での楽しい時間にしてみてください♪

保育士体験やっています♪

コロナ様式からかつての園生活が戻りつつある昨今、保育士体験も始まりました。今年度は既に3名の保護者の方々が参加して下さっていて、「楽しかった」「有意義だった」「来年もやってみたい」との感想が上がっています。

保育園で友だちとコミュニケーションをとれているところを見れた。複数名からまとめて話しかけられるからすべてに答えられないのが大変だった。思っていたより子どもたちが自立していた。給食美味しい！

自分が接している子と別の所でトラブルが起きたり、意思疎通が完全ではない子たちに指示を出すこと、行動を見守りながらも統一していくことの難しさを感じました。保育士さんが実際にどう動いているのか間近で見ることができ、保育を体感出来て良かった。子どもたちに合った味付けのご飯も美味しかったです。

イベントの時などのように一部ではなく、1日を通して細かい様子や子ども同士の関わり、先生同士の声の掛け合いも見れた。子どもたちが自主的に動いて、「椅子を重ねるのは3つまで」など教えてくれた。給食がとても美味しかった♡配膳や片づけをするのもいいと思った。レシピを教えてください。



保育士体験を通して、集団の中の子どもの姿を見ることで子育てに対して前向きに捉え、子供の成長を実感したり育児に対する視野を広げ親心を育てるきっかけにさせていただけたらと思います。また、お家での様子や園での様子を共有することでよりコミュニケーションを深めていけたらと思います。

是非皆様の参加をお待ちしています。



保育目標

- すみれ→・栄養や休息をとり、安定した生活リズムの中で元気に過ごす。
 - ・様々な感触のものに触れ、心地良さを感じる。
- つくし→・長期休み明けの不安な気持ちを受け止めてもらいながら、安定した生活リズムのなかで健康に過ごす。
 - ・保育者の手を借りたり褒めてもらいながら身の回りのことを自ら進んで行おうとする。
- たんぽぽ→・個々に合ったトイレトレーニングを行っていく。
 - ・一緒に遊んだり生活していく中で友だちの思いに気付いていく。
- ゆり→・水分や休憩をこまめにとり、暑い夏を快適に過ごす。
 - ・夏の遊びを、夏の自然に触れたり水遊びの中で十分に楽しむ。
- ばら→・友だちや保育者と関わりながら夏ならではの遊びを楽しむ。
 - ・共通の目的をもって友だちと活動に参加する。
- ひまわり→・活動と休息を取りながら、元気に過ごす。
 - ・夏の遊びや生活を通して経験を広げ、友だちや異年齢児と楽しく関わる。